

2019年度 ビクトリア大学春季英語研修報告書

2020年2月3日(月)～2020年3月1日(日)

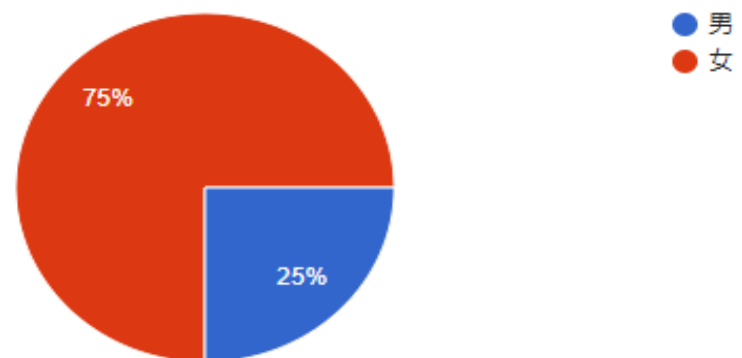
参加人数 20名

2019年度 ビクトリア大学春季英語研修 報告書 目次

1. 性別	24. ビクトリア大学への通学手段と時間（※ビクトリア市内の交通費はUvicから支給されるFree Bus Pass利用）
2. 学年	25. 通学方法はどのように確認しましたか？
3. 参加プログラムを知ったきっかけは、何ですか？	26. ホストファミリーの家族構成
4. 2019年7月1日（月）の春季英語研修説明会に参加しましたか？	27. ホストファミリー宅での時間の過ごし方
5. 本プログラムへの参加を希望した理由は何ですか？	28. 滞在した部屋について
6. プレイメントテスト（クラス分けテスト）について	29. ホームステイ中に起きた問題や困ったこと、その解決方法
7. プレイメントテストは、どのように行われ、どのような問題が出題されましたか？	30. ホームステイで印象に残ったこと、感想、来年度参加者へのアドバイスなど
8. 自分のクラス（レベル）の名前は何でしたか？	31. 研修中の食費に大体いくら（CAD）使いましたか？
9. クラスのレベルについて	32. 朝食・昼食・夕食について、それぞれ、どのような場所で何を食べましたか？
10.（午前中の授業の）クラスには、自分を含めて何人いましたか？	33. 研修費用について
11. そのクラスに立教生は（自分を含め）何人いましたか？	34. 航空券、プログラム費用、保険、食費以外に、現金・クレジットカードでそれぞれ大体いくら(CAD)使いましたか？
12. そのクラスには、立教生の他にどのような国・学校の人が何人参加していましたか？	35. 上記は何の費用でしたか？具体的に書いてください。
13. 授業内容についての満足度	36. 日本から持参した電化製品
14. 授業はどのように進められ、どんな様子でしたか？	37. 持参したが不要だと思った電化製品
15. よいと思った授業内容について教えてください	38. 持参すればよかったと思った電化製品・その他持ち物
16. 改善してほしいと思った授業内容について教えてください	39. レンタルWi-Fiを使用した感想
17. 研修期間（4週間）について	40. 日本の家族、友人との連絡手段
18. 課外活動（International Conversation Club, Visit the Royal BC Museum, Enjoy a movie等）の感想、良かった点、改善してほしい点など	41. 危機管理（研修中、危険な目に遭ったこと、避けたほうがよいと思った地域や時間帯など）
19. Optional Activity（有料・Vancouver Trip, High Tea, Student Opera Night, Victoria Royals Game）の感想、良かった点、改善してほしい点など	42. 他の学生に、本プログラムへの参加を
20. Optional Activityのバンクーバー旅行中に滞在したホテル（ホステル）は	43. 上記の回答（「すすめる」「すすめない」「どちらでもない」）の理由を書いてください。
21. Optional Activityのバンクーバー旅行のホテル（ホステル）の設備、部屋などの印象、その他感想	44. 来年度参加者へのアドバイス
22. 自由時間（放課後、週末など）の過ごし方やアドバイス	45. 英語力について
23. 滞在したホストファミリーの名前（姓）を教えてください	46. 研修を通じて発見したこと、学んだこと、自分が成長したと思う点など

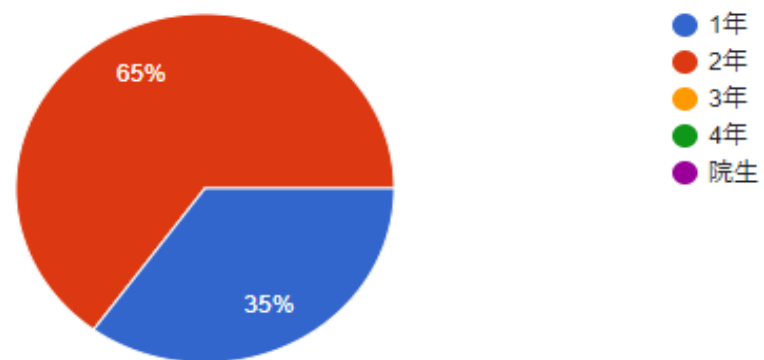
1. 性別

20 件の回答



2. 学年

20 件の回答



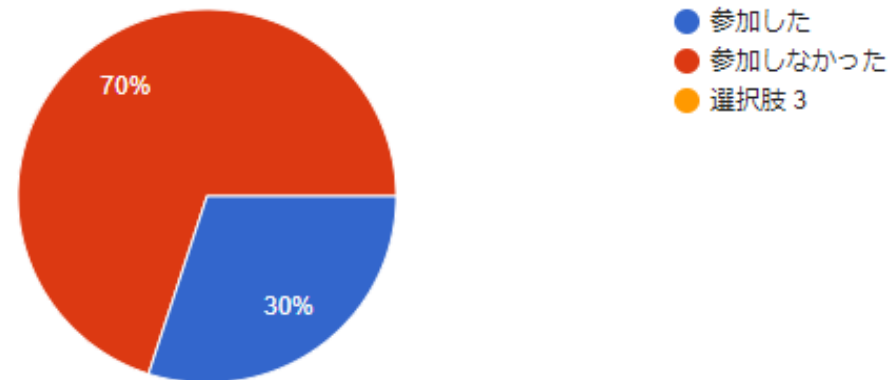
3. 参加プログラムを知ったきっかけは、何ですか？

※複数回答可

大学のウェブサイト(又はTwitter)を見た	10人
友人(知人)から聞いた(参加したことがある友人・知人がある)	6人
Departure (立教大学留学案内の冊子)を見た	5人
国際センターの窓口で聞いた	1人
オープンキャンパスでの説明会で聞いた	1人
保証人(保護者)から聞いた	0人

4. 2019年7月1日(月)の春季英語研修説明会に参加しましたか？

20件の回答



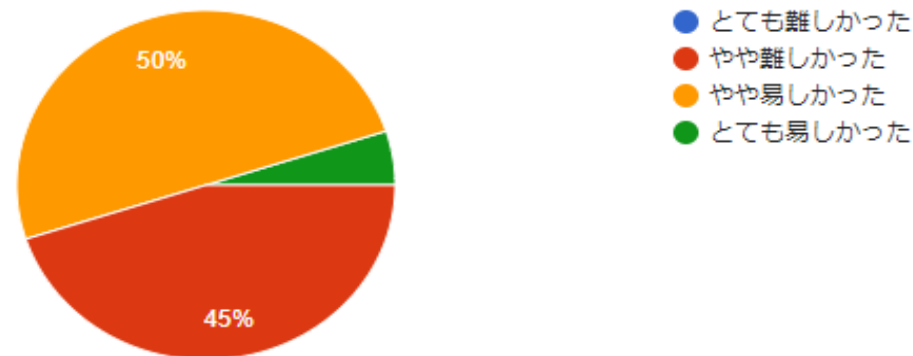
5. 本プログラムへの参加を希望した理由は何ですか？

※複数回答可

単位が認められる	13人
研修先大学のある場所(国)が魅力的または興味があった	12人
滞在形態(ホームステイに滞在する)	12人
研修先大学のある場所(国)が治安がよい	10人
時期、期間がよかった	10人
研修内容(授業内容)が魅力的または興味があった	5人
費用が安い(妥当である)	5人
長期留学の前に短期研修に参加してみたかった	5人
研修中の課外活動(Optional Activityなど)が魅力的または興味があった	2人
保証人(保護者)にすすめられた	1人
英語のスキルを伸ばしたかった	1人

6. プレイメントテスト (クラス分けテスト) について

20 件の回答



7. プレイメントテストは、どのように行われ、どのような問題が出題されましたか？

立教大学は後から参加したためTOEICのような形式のテストを受けた

立教大学で受けました リスニングとリーディング

toeicみたいな感じだった

リスニングとリーディングのテスト。内容はそこまで難しくは無いので、高得点を狙うテスト。大問はそれぞれ3つほどあり、前半2つは異様に簡単で(中学レベル)、リスニング、リーディング共に、最後の大問で差をつけている印象でした。

現地に行く前に事前に立教大学で行われた。筆記試験のみでリーディングとリスニングに分かれていた。

リスニング、リーディング

ReadingとListeningのみ。

事前に何かする必要はないような問題。

リスニング、リーディングのマークシート式テスト

立教大学での事前のオリエンテーションで行われ、リスニングとリーディングの問題が出題された。

大学でマーク式のテストが行われた

リスニングと筆記試験

留学前に立教でリスニングとリーディングのテストを受けた

大学の教室で行われ、リーディングとリスニングの問題が出題された

期末テストの関係により立教大学の人は立教大学内でテストを受けた。

TOEICの少し簡単にしたような問題

リスニングとリーディングの問題を90分間で解いた。

TOEICのようなテストで、リスニングもあった。

出題形式はTOEICと似ていた。

内容はTOEICより易しめだが、リスニングがネイティブのスピードであった。

大学で行われた

選択式の問題

TOEICと似たような感じで、リスニングと筆記を行った

8. 自分のクラス（レベル）の名前は何でしたか？

2A

3C

2A

3C

3D

3F

3A

3A

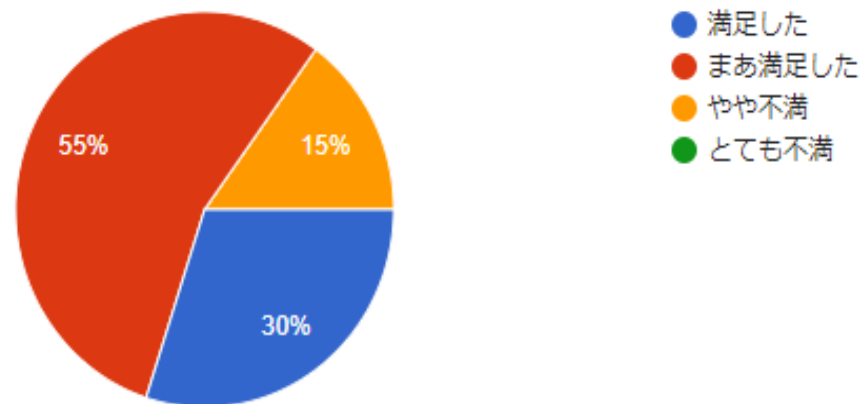
3B

3E

2H
3B
2D
A1
3F
3C
3B
2F
3f
1a

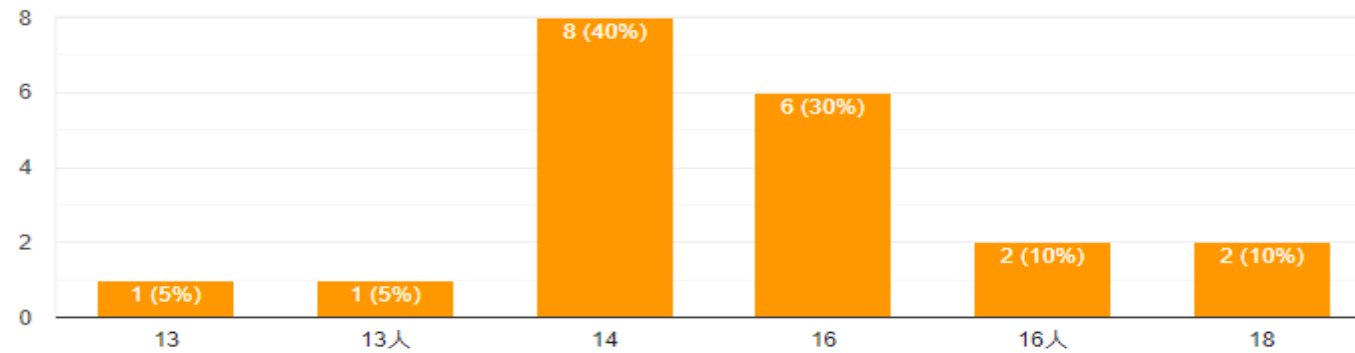
9. クラスのレベルについて

20 件の回答



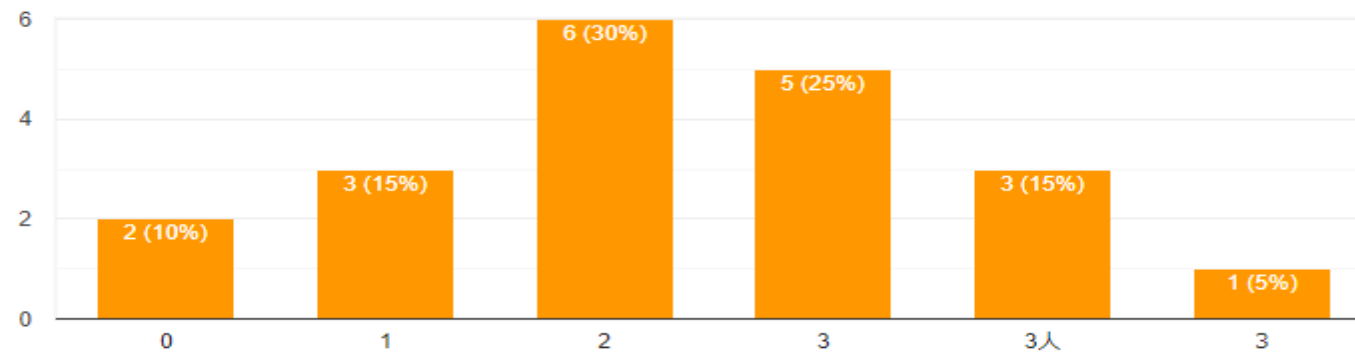
10. (午前中の授業の) クラスには、自分を含めて何人いましたか？

20 件の回答



11. そのクラスに立教生は (自分を含め) 何人いましたか？

20 件の回答



12. そのクラスには、立教生の他にどのような国・学校の人が何人参加していましたか？

チリ1人、韓国2人

韓国

チリ 韓国

韓国人1人。日本人13人。

早稲田大学2人。青山学院2人。関西学院3人。その他岡山や福岡の大学から4人。

クラス14人のうち全員日本人であった。

西南学院大学、関西学院大学、フェリス女学院大学、神奈川大学、東洋英和女学院大学、青山学院大学、日本大学、早稲田大学など様々な大学の生徒がいた。

日本、関西学院大学、法政大学など

韓国、法政、関西学院、西南、早稲田、青山学院など。

韓国・関西学院大学、青山学院大学、法政大学、早稲田大学

韓国2人、日本9人、チリ1人、中国1人

全員日本人の大学生だった

韓国、青山学院大学、法政大学

チリ人、韓国人、日本に住んでいる中国人

日本人だけ

東洋英和女学院、青山学院大学、安田女子大学、法政大学、名城大学、神奈川大学、福岡県の大学の人、韓国の大学から来た韓国人の子2人がいた。

全員日本人 関学や法政

韓国、青山学院大学、早稲田大学、関西学院大学、西南大学など

日本人は12人で、神奈川大、法政大、関西学院大、早稲田大、西南大などの人がいた。外国人は4人で、韓国・中国・チリ出身の人がいた。

日本人15名と韓国人1名

西南学院大 2名

法政大 3名

フェリス女学院 2名

早稲田大 1名

名城大 1名

関西学院大 1名

立命館大 1名

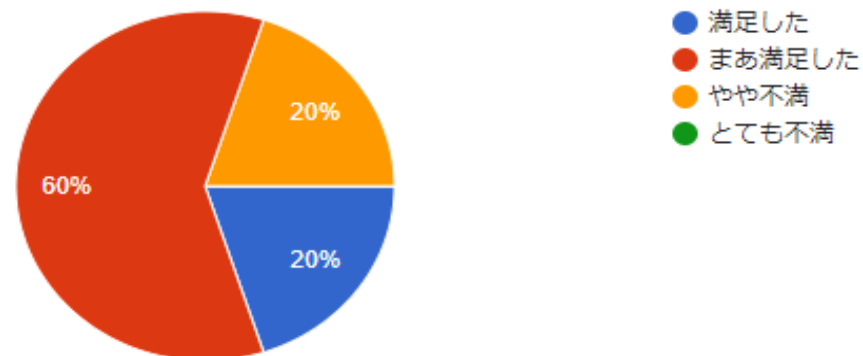
安田学園 2名

全て日本人だった

日本人が9割であとは韓国人

13. 授業内容についての満足度

20 件の回答



- 満足した
- まあ満足した
- やや不満
- とても不満

14. 授業はどのように進められ、どんな様子でしたか？

ディスカッション形式が主で、たまにプレゼンをやる

思ったより静かだった。イディオムや単語を知って、それを使って話し合う形

文法を学び、その後それらを用いて会話する。

文法からイディオム、会話やディスカッション、リスニングと幅広く学びました。クラスの中では休憩時間でも英語を使うことが強制されていて、割とみんな守っていた印象です。ただ日本人同士で英語で雑談することにみんな抵抗があったので、割と静かなクラスでした。

授業の初めに単元の基本となる内容を教わったあと、それに関するディスカッションやグループワーク、リスニングやリーディングなど様々なことを行った。午前と午後で先生が異なり、内容もそれぞれで違っていた。

ディスカッションやグループワーク

ゲームを通じた生徒同士の会話を中心であった印象がある。分からない単語があっても先生に聞けば色々答えてくれる。

生徒同士での会話が主の授業内容だとも思った。

スピーキングが主で、グループディスカッションのような感じ

主にグループワークペアワークが多かった

主にテーブルごとにスピーキング

基本的にスピーキングがメインでアクティブだった

クラスメイトとの会話で進められた。楽しい様子の授業だった
グループで協力して会話しながら並べ替えたり、組み合わせる内容の授業をしたり、立ってペアになって会話をしたり、2つに分かれてチーム対抗でゲームをしたり楽しみながら学習をした。
基本的にグループワーク
ディスカッションも含めたスピーキング、リスニングが中心の授業だと思った。プレゼンなどもあった。
英語の授業のディスカッションのような感じで、グループでディスカッションをすることが多かった。ペアワークをするときもあった。
午前の授業は主に文法について。今まで習ったことのある内容がほとんどだったが、抜け落ちていた部分もいくつかあり、学ぶことは多かった。スピーチ原稿なども、より正しい文法に修正を求められた。
午後の授業は主に文化を通して英語での表現力が求められた。PowerPointを使用したプレゼンテーションの課題も課された。
自分たちで考えて喋るのが多かった。学問的な授業というよりも身近な話題が多かった。
ディスカッションの簡単版のような感じ
15. よいと思った授業内容について教えてください
カナダのカルチャーについて学ぶ
ゲーム風に単語を覚えていく授業
英語のプレゼン
会話の授業。会話表現であったり、特定の状況での語句(レストランなど)を学び、使ってみる授業は、実際にカナダで生活する際にも役に立ったので良かったです。
日常的な英会話を練習するアクティビティなどはなかなか日本ではないので役に立ったと思う。
ライティングの添削
Vocabularyを宿題として事前に出し、その語彙が活用されている映画を見た授業は楽しかった。検索しても出てこないフレーズも多く、勉強になった。
すごろくをしてそのマスに書かれた自分への質問に答えていくゲーム。楽しく英語を話せたり、聞くことが出来た。
カナディアンカルチャーについて、自分で調べたあと、ホストファミリーやボランティアの方にインタビューしてそれを発表する
カフェテリアや道にいるcanadianに質問する機会があった。
歩いてクラスの色々な人と会話する
指定されたフレーズを絵から推測するゲーム
ボランティアの現地の人と話す授業
たまに大人数のグループに分かれてチーム対抗でお菓子をめぐってゲームをしながら学習するのが楽しかった。
カナダの人々にインタビューする授業
洋画や洋楽などを見たり聞いたりしながら受ける授業
1人で10分間のプレゼンをする課題が大変だったが、いい経験になった。また、ペアである場所へ行き、動画などをとってきてパワポをつくるVlogの課題も面白かった。
毎日宿題が課されるので、その課題内容についてホストファミリーと話し合ったりすることで、ホストファミリーとの会話の切り口になった。
カナダの学生にインタビューする。
映画を通して授業を進めた日は楽しかった

16. 改善してほしいと思った授業内容について教えてください

文法などの学びはあまりできなかった

なし

文法は英語でやると余計わかりにくく感じた。

文法。すでに受験で学んだことのある文法を、わざわざ英語で学び、分かりづらくする意味が分からなかった。

恋愛に関する内容が多く、パーソナルな事なのであまり表立って発言したくないなと感じてしまった。

なし、

少し物足りないと思ったくらい。

中学レベルの文法を何日にも渡って取り扱っていたところ。

なし

なし

なし

なし

ネイティブとの会話をもっと増やしてほしい

なし

なし

なし

なし

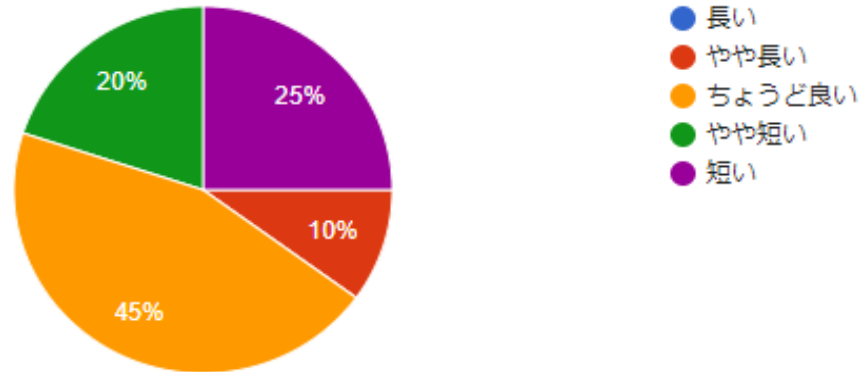
仕方の無いことだが、日本人だらけなので授業においてはあまり留学している意味がないと感じた (日本で英語の授業を受けているのと変わらない)。

なし

授業中に英語以外で話す人が多数いた

17. 研修期間（4週間）について

20 件の回答



18. 課外活動（International Conversation Club, Visit the Royal BC Museum, Enjoy a movie等）の感想、良かった点、改善してほしい点など

BCmuseumはいろいろな展示があって面白かった

カンパセーションクラブは結局自分の友達とゲームするだけだったと参加した人からは聞きました。博物館や映画館は、なかなか個人で行く時間はなかったので、プログラムに組み込まれていてよかったなと思いました。

本当に日本人とゲームをするだけって感じだったし、友達と行かないとできないように感じた。

日本人が多くいたので一回も行かなかった。

もう少しそういった課外活動を増やしても良いと思う。

映画が良かった

BC Museumは何回でも行きたいくらいだった。博物館としての展示はもちろんのこと、ちょっとしたテーマパークのような感じでもあった。ただ見るだけの展示ではなく、誰もが楽しめると思う。

BC Museumはカナダの歴史を学ぶのに非常にいい機会だった。

international conversation clubは日本人が多く、ゲームするだけだったので、最初の回だけで次週から参加しなくなってしまった。museumやmovieは英語に触れられたり、文化を知れたので楽しかった。

a movie は普段自分では見ない分野の映画で面白かった。ポップコーンと飲み物がもらえたのも良かった。

日本人が多かった

conversation club は日本人ばかりで他の国の人とはあまり話すことができなかった。

映画はアクション系だったので英語が多少理解できなくても映画の内容はしっかり理解できたのがよかった。スケジュールがバンクーバ旅行との都合が悪かったためそこを改善してほしい。

ミュージアムに行ったときにクラスの子とかなり仲良くなれたので良かった。映画も最新の映画を英語音声、英語字幕で見て内容は雰囲気を感じ取るしかなかったけど英語に触れられて良かった。

Conversation clubはボランティアの数に対して、日本人が多過ぎて、日本人の集まりみたいになっていた

アクティビティはとても良かったし楽しめたが日本人ばかりで学内で海外の友達を作るのが難しかった。日本語で普通に喋ってしまう。

特になし

BC Museum... 想像の何倍も良い施設、展示であった。

Enjoy a movie... 大学の施設内に立派な上映設備があることが新鮮であった。

どの活動もカナダを知れたり英語の学習に役立った。

なし

19. Optional Activity (有料・Vancouver Trip, High Tea, Student Opera Night, Victoria Royals Game) の感想、良かった点、改善してほしい点など ※回答19人

参加していないのでわからない

ハイティーは、私は友達と申し込んだので楽しめたのですが、個人で申し込んだ男の子が孤立していて退屈そうでした。

バンクーバトリップに参加しました。大学からの送り迎えが付いていたことがとても良かった。友達はオプションツアーではなく、自分でバンクーバーに行っていたが、行き帰りの移動が大変そうだった。しかし自分たちで計画をたてて行った人は自由時間がたくさんあったので、自分でホテルやバスの計画を立てられて、自分の好きなように周りたい人はこのツアーでは無くてもいいと思う。バンクーバトリップには水族館が強制的に付いてきます。

バンクーバトリップのホテルの決め方が早い者勝ちのような感じだったので嫌だった。

オペラは夜遅く、帰るのが大変だった。

ホッケーが面白かった

全てに参加した。Hockey gameは特に楽しかった。絶対に行くべきだとオススメできる。

Vancouver tripは移動時間の割に、観光できる時間は短かった。事前に行く場所を計画しておく必要がある。街の感じがVictoriaと比較が出来たのは良かった。

Operaの内容は進展がほとんどなく品がなく残念だった。また、公演終了時間が遅くさらに延長したので、迎えに来てくださったホストファミリーを待たせてしまった。

Vancouverは時間がなかった。自費で行った方がよかった。operaは字幕がついてたので、わかりやすく、楽しかった。

バンクーバトリップは割高だった。同じ料金を払っているのに、部屋にトイレとお風呂がない部屋にされて最悪だった。料金が違うなら納得できるが、一緒なのにもかかわらず部屋にある人となひとがいるのは納得できない。

hockeyはとても盛り上がり、カナダの文化を感じられた。

High Teaを行ったホテルはとても良かったし、紅茶も高そうなのが飲めてよかった。紅茶とお茶を選べた点もよかった。

バンクーバトリップは時間がなくて、オプション以外の自由時間はダウンタウンとガスタウンしか行けなかったのもう少し時間が欲しかった。

Vancouver Tripは自由時間が少なかった。個人で行っていた友達もいたがそういう人の方が行きたいところに行けていた。

High Teaは、アフタヌーンティーのような感じで、とても素敵だった。Opera Nightは、会場がとても歴史のある建物で、見ごたえがあった。

Vancouver Trip... 安全なホテルに泊まれたことはよかった。自由時間がやや少なめである。自分で手配するよりも値段が高くなりがちである。全体的には満足しました。

Opera night ... チケットが非常に取りづらいです。偶然クラスメートが行かないからあげるというのでチケットを譲ってもらい行くことが出来た。立派な施設で一流のオペラを楽しむことが出来る。私自身オペラに興味はなかったが、大いに満足した。値段も破格レベルで安い。

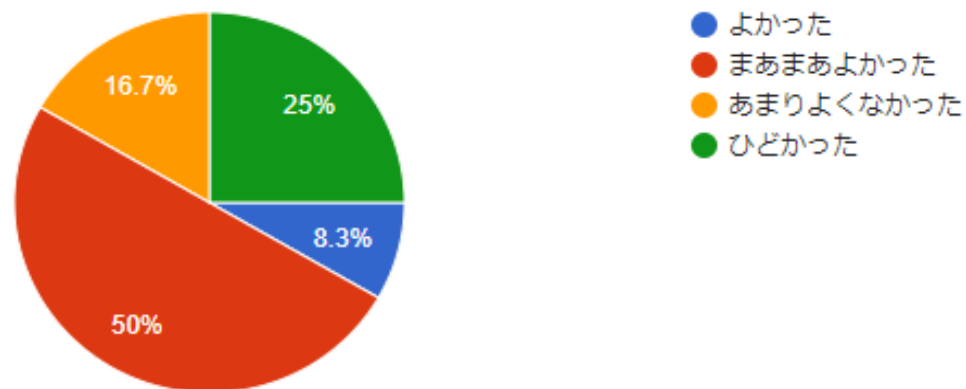
Hockey Game ... 元々スポーツ観戦が好きなので、アイスホッケーの試合を見たいと思い、参加した。場内が完全にホームチーム鼻息の人ばかりであり、ビジターのチームが得点するとブーイングの嵐が起こるので驚いた。売店にホットドッグを買いに行ったら日本人の店員がいて驚いた。

オペラとホッケーに参加したがどちらも日本だとできなかった経験だったのでとても楽しめた。

事前の情報がもう少し欲しかったです

20. Optional Activity のバンクーバー旅行中に滞在したホテル（ホステル）は

12 件の回答



21. Optional Activity のバンクーバー旅行のホテル(ホステル)の設備、部屋などの印象、その他感想 ※回答11人

ベット2つとバスルームとテレビというごく普通のホテル。ガスタウンからのアクセスが良かった。しかしバンクーバーではナイトクラブに行ったので、深夜2時ごろホテルに着いて、翌朝の出発も早かったので、ホテルには殆どいなかった。

3人部屋であったが、他大学の生徒2人組と勝手に同じ部屋に割り振られ、その2人に部屋を追い出されてしまい泊まる場所がなくなり、他の部屋の友人の所に泊まらせてもらうことになり大変迷惑だった。

WiFiが弱かった

1泊するには丁度良いホテル。ベットはふかふかで良かったし、テレビもついていた。

私たちは早いもの順で良い部屋がとれたので、よかったが、ランクが低い部屋になってしまうとよくなかったらしい。バンクーバーは治安が比較的悪く、少し怖かった。それを含め良い経験だった。

先ほどの質問にも書いたが、部屋にトイレがないのは最悪。

共同キッチンがどこも汚い

お風呂とトイレが部屋になく、共同で使わなければいけないバスルームだった。しかし、部屋に備え付けられている人もいて、同じ値段払っているのだから、全ての人が備え付けのお風呂とトイレがある部屋にして欲しかった。

hall bathだったので一つのシャワーを共有しなくてはいけなかった。部屋は良かった。

安全であり、立地も最高である。

バスタブ付きのユニットバスなので、浴槽に浸かってリラックス出来た。

本当に寝るだけという感じなのでアメニティー類はないと思った方がよい。

22. 自由時間（放課後、週末など）の過ごし方やアドバイス

ジムは広くて使いやすい施設だった

私のホストファミリーはどこにも連れて行ってくれなかったもので、自分たちで

放課後はいろんなところに行ってみたらいいと思いました。最後のほうになって時間が残されていないことに気づきました

フードコートで放課後復習などの勉強は、留学気分を味わえました。

放課後は3時に授業が終わるため、とにかく自由時間が多くある。僕は放課後、立教の友達とダウンタウンに遊びに行ったりしていた。また課題がある日は家で課題をやったり、日本から持ってきたTOEICの公式問題集を解いたり、テレビでニュースやNetflixを見ていた。バスは無料で使えるため、事前にビクトリアで行きたいところを調べておいて、行ってみるのもいいかもしれない。

図書館はとても広いが現地の大学生が課題をやっていたりして、割と混んでいた。

ジムは広く、バスケやサッカー、ロッククライミングもできる。運動好きな人は絶対に使った方がいい。

学校の敷地は大変広いので、休みの日に学校を色々回るのも楽しいと思う。

ジムが充実していた

宿題の時間は確保した方がよい。その必要がない場合は、downtownによく行った。

放課後はクラスの課題やニュースアプリのリスニング教材や自作した単語帳で自習をした。週末はホストファミリーがmovie nightといって映画を見せてくださった。

ジムはとてもよかった。設備を整っていて広い。たくさんの人が利用しているので、利用しやすかった。

ダウンタウンやアップタウンに行き友達とショッピングやカフェ巡りをした

観光名所に行ったり、カフェに行ったりした。

ダウンタウンに行ったり、ジムに行ったりした。

ジムをりようした。またダウンタウンで買い物をしたりハイキングなどをした。

Uvic内のジムはとても充実しておりジムを利用する留学生以外の人たちの様子も見れて興味深かった。バドミントンやテニスも出来るがラケット代(ボール込み)が別途かかるのであらかじめ日本から持って行くか、4人とか大人数でやるほうが良いと思います。ロッククライミングが無料でできるので一度は体験するべきだと思います。

ダウンタウンに行ったり、ホストファミリーと遊んだりした。ジムは本格的でボルダリングなどがあったりして、すごく充実している。

出来るだけ英語を使える場所に行った。学内のラーニングセンターや少人数体制のpronunciation classなど自分たちで見つけて参加した。Downtownなど散策やショッピングもした。学内のジムは広くてオススメ。自分からいろいろなところに行くべきだと思う。

友達とショッピングに行ったりカフェに行ったりした。ダウンタウンにはカフェが沢山あるので、ぜひ行ってみるといいと思う。1カ月いると街に慣れてくるので、そこまで遠くなければ1人で出かけてみるのも良いと思った。

私はジムを多く利用しました。立教のジムも立派ですが、Uvicのジムもそれを凌ぐほどの大規模の施設を持っているので、ぜひ行くことをおすすめします。

週末は日帰りでの個人旅行をしたり、近所の運動公園でホストファミリーと球技をしたりして過ごしました。

最初の週末は疲れていると思うのでゆっくり休むのもあります。

ジムが充実していたので利用するのが良いと思う。週末はホストファミリーがどこかに連れて行ってってくれることもあった。有名なカフェとかは16時とかにしまったりするので早くから行動するのが良いと思う。

ジムはとてもよかった。

23. 滞在したホストファミリーの名前(姓)を教えてください	24. ビクトリア大学への通学手段と時間 (※ビクトリア市内の交通費はUvicから支給されるFree Bus Pass利用)	25. 通学方法はどのように確認しましたか？
Ms. Paula Gregory & Mr. Shawn Hoey	バスと徒歩で50分	グーグルマップとtransitというアプリを使って調べた
Canagasuriam	バスで約15分	初日にホストファミリーが案内してくれた。
Dow	バスで20分ほど	グーグルマップで調べた
Cameron	バスと徒歩で30分	ホストのファミリーに尋ねた
Piazza	徒歩とバスで30分程度	ルームメイトの子が教えてくれた。 BC transitというアプリを入れた。
Drinkrow	バスと徒歩で40分	ホストファミリーが教えてくれたのに加え自分でもGoogleマップで調べた。
Camilon	バスと徒歩で30分	ホストファミリーが教えてくれた。
Pizza	徒歩とバスで三〇分	グーグルマップとホストファミリーに確認した。
Boeno	バスと徒歩で1時間	ファミリーが教えてくれた
Philip	バスで5分	ホストファミリーが教えてくれた
Hoey	バスと徒歩で50分	バスのアプリで調べた
Cameron	徒歩で20分	登校日にホストマザーと一緒に大学まで歩き目印などを教えてもらいながら登校した。
DiMartino	バスと徒歩で30分	ホストファミリーが教えてくれた
Dimartino	バスと徒歩で40分くらい	初日にホストファミリーが説明しながら通学路を通して送ってくれた。わからないときはGoogleマップを使った。
Drinkrow	バスで40分	ホストファミリーが教えてくれた。
Rampling	バスと徒歩で20分	Transitというアプリ
Cameron	徒歩で15分ほど	ホストファミリーに尋ねた
Dow	最寄りのバス停まで徒歩2分 バス乗車時間 20~35分	ホストファミリーに教えてもらった。 バスの現在位置が表示される専用のサイトや、Google Mapで時間は調べた。
mccoll	バスで1時間弱ほど	ホストファミリーが教えてくれた
Demers	バスと徒歩で25分程度	ホストファミリーが教えてくれました

26. ホストファミリーの家族構成	27. ホストファミリー宅での時間の過ごし方	28. 滞在した部屋について
ホストファザー、マザー、兄弟2人の4人家族	平日は家に帰って、リビングなどでホストファミリーと会話をするなどの交流が主だった、休日は家にはあまりおらずルームメートと一緒にダウンタウンや名所に行った	ベット、机、椅子、クローゼットなど一式がそろっており、部屋はある程度の広さがあった
父、母、兄、妹の4人家族	ホストファミリーと外出したことは一度も無かった。そのため、友達とダウンタウンなどに出ることが多かった。	部屋の広さは十分にあった。ダブルベッド、机、ソファークラウンが二つ、ハンガーラックが一つあった。
父と母の2人	平日は夕食後に1時間ほど話した。休日は一緒に朝山に登り、午後はピクニックボールをしたり、ドライブしたりした。	ベットと机とハンガーがあった。広さはベット2個分程度
夫婦のみ	どちらもテレビを見た	広かった、暖炉があった
ホストファザー、マザー。その娘さんと孫3人は頻りに遊びに来ていた。	夜ご飯の時間は、皆で集まり楽しく会話しながら過ごした。ホストファミリーが沢山話しかけてくれるので良かった。他の時間は、思いの外外出された宿題をやっていた。	ルームメイトが、私の場合は2人いた。1人につき一部屋もらえた。私は一番小さな部屋を選んだが、それでも十分な広さだった。ほか2人の部屋は、広すぎるくらいだった。
60代くらいの女性1人	放課後はクラスで出された課題やニュースアプリのリスニング教材や単語帳で自習をした。週末はホストファミリーがMovie Nightといって映画をみせてくれた。	小さめの部屋でベッドと勉強机のみが置いてあった。クローゼットやベッドの下の収納があったので部屋を散らかさずに済んだ。
母、父、娘、犬	平日は学校から帰ってきて、帰ってきた人から夜ご飯を食べて(みんな一緒のときは一緒)、宿題を手伝ってもらったり一緒にテレビを見たりして、お風呂に入って寝る。週末は、昼間はどこかに出かけ、夕方帰ってきて、一緒に夜ご飯を食べて、映画を見たり、テレビを見たりする。	部屋は1人一部屋で広かった。家具は、デスク、タンス、ハンガーかけ、ベット、ランプ
マザーとファザー、留学生三人(自分含め)	平日は夕食を共にし、会話し、休日は個々で過ごした	ベットと机
父、母、姉、弟	お茶を飲んだり、テレビを見て過ごした	照明が暗かった
父母、息子2人	夕飯後、テレビを見る、パズルやトランプをする、クッキーを作るなど。	クローゼット、机、ベット、ベットスタンド、棚、
息子2人、父、母	平日は朝から学校に行き授業の後は学校に残って宿題をするかダウンタウンなどで時間を過ごしパブなどに行った。週末は朝からハイキングなどに出掛けた。	セミダブルベットがあり1人で過ごすには十分な広さだった
ホストマザーとホストファザー、そして息子。同じプログラムの立教生一人。	平日は放課後に友達と遊んだ後、17時ごろには帰宅し夕食を食べた。週末は、日中は基本的に友達と遊んでいたため、17時ごろに帰宅後、ホストファミリーと夕食を食べたりゲームをした。お昼ごろまで私もルームメイトも予定がない日はドライブに連れて行ってくれた。	一人部屋には十分な広さでホストファミリーとは別にルームメイトと私だけが使えるトイレとシャワーがあった。家具も服がしまえるクローゼットもありハンガーもたくさんあった。
7人 小さい子供4人と子犬1匹 ルームメイトは私と立教生1人でした。	平日は子供達と遊んだり、テレビをみたり、週末は映画をみたり、散歩をしたりしました。	十分な広さでした。家具は鏡、勉強机、ベッド、クローゼット、タンスもありました。

日本人ルームメイト、お母さん、お父さん、子供四人、犬一匹	平日は子供達や犬と遊んでいた。休日はルームメイトの子とよく出かけていた。	広かった。机、ベッド、棚がいくつか、クローゼットまであった。
ホストマザー1人と、立教生1人	平日は、学校から帰ってきたら課題などをやった。夜ご飯は結構早めで、いつも18時くらいだった。夜ご飯を食べた後は、課題をやったり、映画を観たりするときもあった。休日は、平日より遅めに起きて、ダウンタウンに出かけたり、週末に出た課題をやったりした。	1人部屋で、机、ベット、クローゼットがあった。六畳くらいの広さで、1人だったら十分な広さだった。
夫婦。自分以外に名城大学のルームメイトとUVICに留学している中国人1人。	平日は学校の宿題をしたり、テレビでニュースを見たりした。 休日は家族とNetflixを見たり、話したりした。日曜日には教会に一緒に行った。	1人で過ごすには十分な大きさの部屋。ベッドと机、化粧台があった。
父、母、息子、立教生が2人	自室で宿題したり、一緒にテレビを見たりした。	広くて机、クローゼットもあった
ホストファザー、ホストマザー、ルームメイト(同学年の立教生)	平日...ホストファミリーがいる日は、夕食後に団欒をしたり、宿題を相談したり、英語の表現において気になることを聞いてみたりしました。また、家族全員でじえんがをしたり、バスケットボールの試合のある日は、みんなでテレビ観戦をしました。 ホストファミリーが夜間外出している日は、Netflixで映画などを見ていました。 休日... 近所の運動公園で球技をしたり、ドライブでビクトリア近辺の名所めぐりに連れて行ってもらいました。	一般的なビジネスホテルのシングルルームの1.5倍くらいの広さでした(広さの単位がわからなくてすみません)。 大きめのベッド(セミダブル~ダブル?)と、幅1.5m程で3段ある収納棚、勉強机、大きいクローゼットがありました。コンセントも沢山ありました。
父母子供二人	自分の部屋にいたか猫と遊んでいた。 あまりホストファミリーとは話さなかった。	ベットと、勉強机。 十分な広さだった。
父、母、9月からUvicに通っている同い歳の女の子、猫1匹	平日はご飯の後に映画を見たりしました 週末にはビクトリアの山や海などに連れて行ってくれたり、お母さんのお姉さん達と別の街に行ったりしました	家は二階建てで、自分の部屋にはクローゼットとドレッサーとベッドが置いてありました

29. ホームステイ中に起きた問題や困ったこと、その解決方法

なし

なし

なし

なし

なし

ホストファミリーが作ったタピオカ入りプディングによって腹痛・吐き気が起こった。学校を休もうかと思ったほど辛かったが、正露丸を飲んだらすぐに治った。次の日からプディングは食べないように、またその系統のものを食べすぎないようにした。

なし

なし

なし

外出中、部屋に犬が入ってきてゴミ箱を荒らしてしまったため翌日か、ゴミ箱を机の上に上げて家を出るようにした。

なし

なし

トイレが詰まった。

なし

トイレを詰まらせてしまったが、ホストマザーに話したら快く直してくれた。友達も同じようなことがあったと言っていたので、気を付けた方がいいと思った。

ホストマザーから相槌について指摘された。カナダ人からすると、相槌はすべてのことに同意されているみたいで違和感があるらしい。日本では相槌は決して失礼に当たらない仕草であることを伝え、それも含め文化の違いだと理解してくれた。

水道が使えなくなった。

ホストファミリーの祖母の家が近かったので2日ほどそこに泊まった。

なし

なし

スマホを紛失してしまい、近くの学校や免許センターに尋ねたりしたけれど無く、ホストファミリーと一緒に警察に行って届けを発行してもらうための書類を提出しに行きました。

30. ホームステイで印象に残ったこと、感想、来年度参加者へのアドバイスなど

ノートパソコンはプレゼンなどで使う場面があるので持ってきたほうが良い、今回の留学中雪はあまり降らず、念の為持ってきたブーツは一度も使う機会がなかった。

本当にホームステイ先がどのような家庭かは人それぞれ違うので、それによって週末の過ごし方やステイ中の考えも変わると思います。私の家庭はスリランカの出身の方々だったため、毎日カレーで大変驚きました。

一緒にドライブしたり、スポーツしたり遊んだこと。

アドバイスとしては、宿題とか自分でわかって、あえて聞いてみる。そうすると他の知識もついたりするし、会話のきっかけとなる。プレゼンもホストファミリーに最初練習で発表したこともためになったし、自分のことについて知ってもらう機会となった。

私の家はお昼を作ってくれた

私のステイ先は本当に当たりだったと思う。家庭によっては、そんなに家族と話す機会がなかったという話も聞いた。

周りのクラスメイトたちは自分で洗濯をしていたりお昼ご飯を作ったりしていたが、私のホストファミリーは全て担当してくださった。申し訳ない気持ちもあったがその度にThank youと言った。感謝の言葉は伝えるべきだと思う。

私の部屋は地下で、トイレの鍵が閉まらなくて最初驚いたが、調べると、閉まっているときは使用中で開いているときは使えることを知った。だから自分が使ったあとは必ず扉を開いたままにしておいた。

あと、寒さ対策で、カイロやマフラー、マスクなどたくさんもっていったが日本とあまり変わらず耐えられる寒さであったので必要なかった。物は大体ダウンタウンなどで揃うため、そこまで大荷物をパッキングする必要はない。

ホストファミリーがにがに厳しくて、ドアをいつも閉めるように言われた。特にお風呂後は気をつけた。ボディークリームや香水はつかえなかった。

ファミリーに日本食を作って皆で食べたこと。

ホストマザーと週に1度クッキー作りをすることがとても楽しく、会話のきっかけにもなった。

夕飯で家族の会話から置いていかれることが多かったので頑張ってついていくようにすること。

とても優しくいろいろなことを教えてもらったし、いろんなところに連れて行ってくれた。

洗濯機の使い方や、冷蔵庫に自分のスペースを作ってくれたり、非常にホームステイの受け入れが慣れているなど思った。不便なく過ごせた。

とても良い家族だった。毎日帰りたくなる家だったすごく楽しかった。

本当に寒いので、防寒着は必須だと思う。寝る時が寒かった。ただ、ブーツを持っていったが、あまり雪が降らなかったのも、いらなかったと感じた。

意外にも自由な時間が多いため、自習ができるものを持っていくといいかもしれない。自分はTOEICの公式問題集を持って行った。もちろんカナダでしかできないことをするべきだという意見には賛成だが、それを差し引いても自由な時間が多い。

自分からも質問したりしてとにかく積極的になること。

とてもフレンドリーで、ものすごく親切にしてくれ、感謝の気持ちしかありません。

現在もメールで文通をとっています。

個人的に、学校にいるときよりホームステイ先の方が、英語力を身につけられる時間だと思ったので、簡単な話題でもどンドン話していくとよいと思います。

私は積極的に話さなくて後悔してる部分があるので、絶対に積極的に話すべき

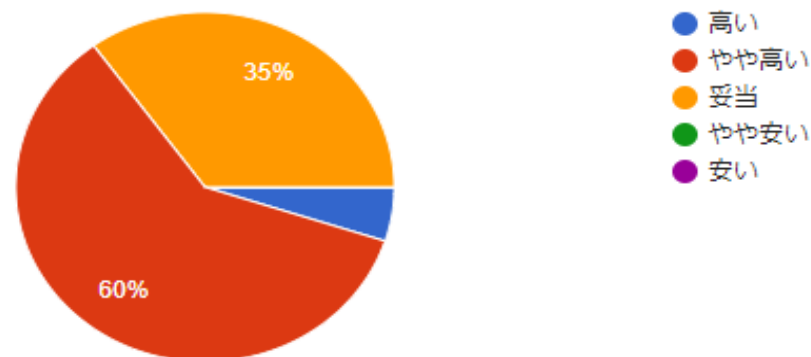
いつも学校から帰ると今日はどうだった？と聞いてくれて、会話することが出来ました。英語がほとんど出来なくても、話そうとすれば聞いてくれるので、優しくて居心地が良かったです。

31. 研修中の食費に大体いくら (CAD) 使いましたか？	32. 朝食・昼食・夕食について、それぞれ、どのような場所で何を食べましたか？
100	朝食は主に台所にあるシリアルを食べ、昼食は自分たちでサンドイッチを作ってよく持っていった、夕食はホストファミリーが用意してくれた料理を共に食べた
100cad	朝は家でパンなどを食べた。自分で食べる分を用意する感じだった。 昼はホストファミリーの作ってくれたお弁当を食べた。 夜はホストファミリーの作ってくれるご飯を家で食べるが多かった。
100	ホストファミリーが作ってくれたものや、自炊して食べた。
200~300	朝食夕食は家で昼食は大学の空き教室
100\$は確実に超えた。	朝食は自分で用意した。昼食はホストファザーが作ってくれたものを学校で食べた。夕食は家で食べることも、友達と外に食べに行くこともあった。
120	朝食・夕飯はステイ先で、昼食は教室で食べた。 朝食はシリアルやトースト、昼食はホストファミリーが作ってくださったサンドイッチや果物、ヨーグルトなどで、夕食もホストファミリーが作ってくださったスープやパスタやチキンを食べた。
約150ドル、レストランやカフェに行った際	平日は、朝食は家でコーンフレークとパン、昼食はお弁当、夕食は家でお母さんが作ってくれたものがほとんど 週末は、朝食はお父さんが作ってくれていて、昼食は出かけた所でレストラン、夕食は家に帰ってきてお母さんが作ってくれたもの
100	レストラン、カフェ
50	朝食と昼食は自分で作った。夕食はファミリーに作ってもらった。
200\$程度	朝食と昼食は自炊、夕食は自宅またはレストラン
200	朝食は自炊、昼食は自炊とカフェテリアを利用、夕飯は家でホストファミリーと食べた
250	休日は昼食にレストラン、カフェを利用。平日は、昼食は持参したが+たまに学食でも購入。
400ドル	朝は家でパンやシリアルを食べ、昼は持ってきた弁当とたまにカフェテリアでスープなどを買い足していた。夜は家で、パスタやご飯類、タコス、ハンバーガーなどいろいろな料理を出してくれた。
400	家、カフェ、学校がある日の昼は食堂に行っていた。
100	朝食・夕食はホストマザーが用意してくれたものを家で食べ、昼もホストマザーが作ってくれたものを学校に持って行って食べた。ホストマザーの料理がとても美味しくて、食事に関しては困ることはなかったが、苦手なものがあったら、早めに伝えるべきだと思った。
10000	朝食は家。昼ご飯は前日に作っておいたサンドイッチなど。夜食は家族と家で食べたり、大学の友達と外食したりした。
100cad	平日は毎日朝、夜ホストファミリーと食べるようにした。休日の昼にランチとしてカフェを利用するなどした。

300	<p>朝食は、ステイ先冷蔵庫のものを好みに食べていました。主に、パンにピーナッツバターやジャムを塗ったり、コーンフレークを食べていました。 Vancouver tripの日は、ホテルの近くのカフェでワッフルを食べました。</p> <p>昼食は、ほぼ毎日朝自分で作ったサンドイッチを食べていました。 週末は、Downtownにあるファストフード店に入ってハンバーガーセットを食べることもありました。</p> <p>夕食は、基本ステイ先でホストファミリーが作ってくれる料理を食べていました。 夜に予定があったり、行きたいお店があったりした時は、ホストファミリーにその旨を伝えた上で、Downtownのパスタ屋さんや中華料理店で食べることもありました。 Vancouver Tripでは、パブでビールやプーティーンを食べました。</p>
400ドルくらい	<p>基本的には朝と夜は自宅で食べ、お昼はホストファミリーが作ってくれたランチボックス食べてました。土日はカフェなどに行っていた。</p>
恐らく200ドル位	<p>朝食は、前日の夜にルームメイトの子がオートミールとヨーグルトの混ぜたものを作ってくれたのでそれを毎朝家で食べました。お父さんもお母さんも仕事で早く出してしまうので一人で食べました。 昼はクラスメイトの子と教室で食べました。前日の夜ご飯の残りをタッパーに入れたものを食べました。 夕食は大体は家で食べました。カレーのような、シチューのような、stew? というものがよく出されました。</p>

33. 研修費用について

20 件の回答



34. 航空券、プログラム費用、保険、食費以外に、現金・クレジットカードでそれぞれ大体いくら(CAD)使いましたか？	35. 上記は何の費用でしたか？具体的に書いてください。
700	バンクーバー個人旅行費、お土産代
1000	お土産代、ご飯代
300	バンクーバーへの旅行などの観光関連
200	お土産代
630\$	食費、お土産代、現地で追加したホッケーやオペラのチケット代。
250	お土産代
現金約200ドル、カードで約800ドル	お土産代と食費
現金200ドルカード700	お土産、食事
20	お土産代
現金は使っておらず、クレジットカードで200\$程度。	自分や家族、バイト、友達へのお土産代
1000	お土産、食事、買い物
370	お土産、コスメ、uvicパーカー
450ドル	お土産代 服代
300	お土産代、入場料、買い物
300	お土産代、観光地の入場料など
30000	お土産代。
500CAD	お土産代
400	お土産代、個人的な日帰り旅行の旅費(バンクーバー、ダンカン)など
現金1万 クレジットカード4万円ほど	お土産代
300ドル位	お土産代や化粧品や洋服

36. 日本から持参した電化製品	37. 持参したが不要だと思った電化製品	38. 持参すればよかったと思った電化製品・その他持ち物
ノート型パソコン、スマートフォン、ドライヤー、充電器	なし	なし
スマートフォン、ドライヤー、充電器、コンセント、ノートパソコン、ヘッドホン、一眼レフ	ノートパソコン	ビタミン剤、水筒
ノートパソコン、スマートフォン、電子辞書	なし	ドライヤー
スマートフォン、ドライヤー、ヘアアイロン	なし	なし
スマホ、ヘアアイロン、ドライヤー、パソコン・アダプター、USBメモリ。	なし	なし
スマートフォン、ドライヤー、スマートフォンの充電器、ウォークマン、ウォークマンの充電器、分配器、電子辞書	ドライヤー	なし
iphone、パソコン、充電器、変圧器、	変圧器	ドライヤー
ipad,スマホ、変圧器、ドライヤー	変圧器	なし
スマートフォン、ドライヤー	変圧器	なし
スマートフォン、ノートパソコン、変圧器、ヘアアイロン、ヘアカーラー	変圧器	なし
携帯電話、パソコン	なし	爪切り
携帯電話、電子辞書、モバイルバッテリー	電子辞書	なし
スマホ、ノートパソコン、電子辞書、ヘアアイロン、延長コード、Wi-Fi	ノートパソコン	なし
アイロン、パソコン、スマホ	なし	なし
スマホ、ノートパソコン、ドライヤー、ヘアアイロン	ドライヤー（ステイ先にあったので）	なし
ドライヤー、スマホ。	変圧器	パソコン。前年度の参加者の説明では、使わなかった使わなかったと行っていたが、授業で使った。
スマートフォン、ヘアアイロン	なし	なしモバイルバッテリー
スマートフォン、一眼レフカメラ、携帯用ウォシュレット	なし	鼻毛切り、はさみ
ドライヤー、パソコン	なし	なし
スマートフォン、ノート型パソコン、ヘアアイロン、電子辞書、携帯型充電器、変換アダプター	変換アダプター	なし

39. レンタルWi-Fiを使用した感想	40. 日本の家族、友人との連絡手段
容量が多くて制限がかかる事はあまりなかった	LINE
ルーターが重たかった。たまに繋がりが悪かった。	LINE
十分なデータ量であった。	LINE
良かった	LINE
普通に良い。	LINE、インスタ。
スマートフォンよりも大分重いが、wifiがないとマップも使えず目的地に着くことが出来なかったので役に立った。しかし、学校やステイ先など他のWiFiが使える環境下ではレンタルWiFiの電源を切らないと充電が減る。	LINE、インスタグラム
容量が思いの外あって、よかった。	LINE、Instagram
大きくて持ち運ぶのが大変、充電のきれが早い、プラグが壊れた	LINE
十分な容量で良かったと思う。	LINE
大学にだけ行く日はだのwifiが使えるので必要ないと思った。ただ、休日は外出するので、1日の使える量が少ないと感じた。	LINE
よかった	LINE
便利だった	LINEやインスタ
便利だった。	LINE
充分足りた。	LINEなどのSNS
一日に使用できる量が結構多かったので、余裕があった。どこかへ行くときは必ずマップを使ったので、とても重宝した。	LINE
不便もせず良かった。	LINE。
とってもよかったと思う。	LINE
1日600MBであるが、なかなか超えることは無い。ただ、SNSなどに動画を多数上げたり、Youtubeを長時間見たりするとさすがに超えてしまう。	LINE
毎日充電をするのを忘れがちな人が多かった。	ライン
すぐに充電がなくなってしまうので、毎日充電した方が良い。	LINE
かさばる	LINE

41. 危機管理 (研修中、危険な目に遭ったこと、避けたほうがよいと思った地域や時間帯など)

バンクーバーに行く際は、ガスタウン周辺にホームレスが多くいる場所があるので、一人ではいけない方がいいと思う

友人がバス停で待ってる時に男性に話しかけられ、手相を見ると言われて手を触られたそうです。

また、ダウンタウンにはホームレスの人も多く少しこわかった。大麻を吸っている人も多かったため、独特な匂いがしていた。

バンクーバーの安宿

バンクーバーの一部が治安が悪い

Vancouverは夜の時間帯は歩くのが怖かった。マリファナを使う人が昼間よりも多く出歩いていた。

バンクーバーは特定の地域を超えると治安が非常に悪くなると聞いた。

ビクトリアは比較的夜1人で歩いてもいいくらい、治安がよかったが、バンクーバーは治安が比較的悪く、マリファナの匂いがしたり、ホームレスの方が多くて、怖かった。危害はなかったが、雰囲気怖かった。

バンクーバーのチャイナタウン、友達がホームレスのおばあさんに追いかけられた話を聞いた

夜に一人でダウンタウンを歩くのは危険だと思った。

真夜中に1人で出歩くことは街灯が少ないところが多いため怖い。

バンクーバーのガスタウン

友達が携帯電話をなくし、警察に届けたが見つからなかった。

夜のダウンタウンは少し怖かった。特にバンクーバー

夜のVancouverは治安が悪い。

基本的にとても安全で、夜歩いても問題はなかったが、ダウンタウンは遅すぎる時間に出歩くのはやめた方がいいと思った。

バンクーバーの路地裏。大麻、コカイン、浮浪者のオンパレードで絶対に1人では近づかない方がいい。

ホームレスの人が声をかけてくることがあった。携帯とか持ちながら歩くのは危ないと思った。

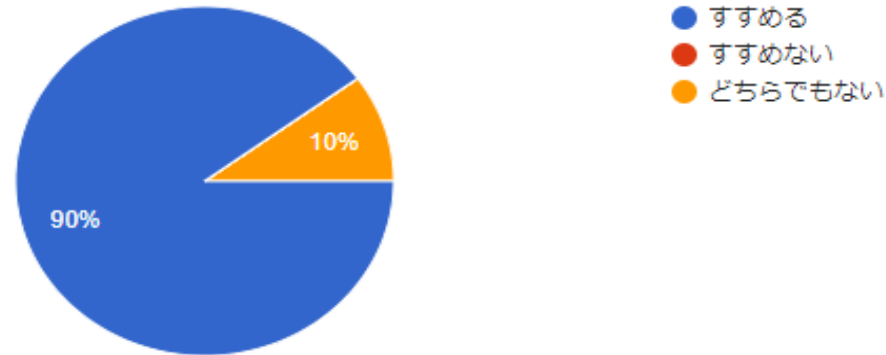
私自身は危険な目に遭いませんでしたが、友人によると、バンクーバー旅行中に治安の悪いエリアに行ってしまう、変な人に絡まれてかなり焦ったそうです。

バンクーバーは必ず大通りを歩いて、路地裏とかには絶対に入らない方がいい

バンクーバーの夜が少し怖かったと言ってた人がいました

42. 他の学生に、本プログラムへの参加を

20 件の回答



43. 上記の回答（「すすめる」「すすめない」「どちらでもない」）の理由を書いてください。

実際自分の語学力が1ヶ月の期間で劇的に上がったとは言えないが、リスニングの能力はついたと思う

ヴィクトリアはとても環境が良いので、楽し見ながら英語を学べると思うから？

英語力をあげたい人にはすすめないが、異文化交流や自分について考えるには良い経験だと思ったから。

文化の違いを味わえるから

短期プログラムで海外での生活に触れるのは、良い経験になると思うから。

1ヶ月は語学向上には不十分だと感じたが、異文化を学ぶにはちょうど良かった。さらに、ビクトリアは多文化社会なのでカナダ以外のことや、他国からみたカナダ(または日本)についても知ることが出来た。

英語への恐怖心がなくなって、外国の方とコミュニケーションをとれることの楽しさを知れたこと。日本とカナダの文化の違いを知って、日本のある意味良い部分も悪い部分も感じたこと。例えば、カナダは自然が豊かで、プラスチックバックを使うことはほぼなく、自然や動物を大切にしている姿を日本は見習うべきだと思った。

現地の人みんな優しく初めての海外には最適だと感じた。

沢山英語を話すことができよかったから。

多文化を身をもって体験できるため。

英語力の向上に直接的につながるとは思えないが、異文化体験という面ではかなり意味のあるものだと思うから。

とても良い場所だったから

旅行とは違い、海外で暮らすという全てがよい経験になる。

環境が変わるだけで学べることも変わると感じる事ができた。

いきなり長期間留学に行くのは不安だが、留学は経験してみたいという人にはとても良いと思った。また、夏のプログラムと違ってホームステイができるのも魅力だと思う。

長すぎず短すぎずな期間であり、異文化体験と英語学習のバランスも丁度良かったから。
語学だけでなく他国を知れるいい機会だと思う。もう少しカナダの学生など触れ合える機会があればより良いと思う。
予想以上に治安がよかった。過ごしやすい気候。現地の人柄がいい。
楽しめるかまたは英語が上達するかどうかは本当にその人次第一概にいいよーとは言えないと思うから
気候や雰囲気などが日本の田舎と似ていて、日本人にとって快適な空間で英語に取り組めるなと思いました。またカナダには色んな人種の人がいるので、私たち英語が話せない人にもみんな優しいのが助かったので、すすめたいです。

44. 来年度参加者へのアドバイス

授業が基本的に月～木曜日までなので、自由時間が多く、いろんな経験ができる。部屋は意外と暖かいので過ごしやすかった。
日常的な英会話のスキルを身につけて行くと良いと思います。
雪は降らない。物価高い。そこまで寒くない。
運動着があるとジムに行ける
今年はコロナウイルスの影響もあったが、それに関係しなくても日本人学生はとて多い。逆に言えば全国に友達が出来るので、旅行する楽しみが増える。
靴に関しては、見た目は普通のブーツのようなスノーブーツとセミフォーマルような靴の2足ですごした。上着はダウンとコートの2着だった。足りないものがあればショッピングモール(ビクトリアに3つほどある)で何でも調達できるので、荷物はあまり持ってき過ぎないようにするべきだと思った。
4週間は長いようで短いから、家にずっといるのではなく、毎日かけて、たくさんの人と触れ合ったり、観光地に出向くことが大切。
英語を積極的に話そうとすること。言いたかったけどなんて言ったら良いかわからなかったことを夜に調べてまとめた。
長靴はいらなかった。
二月は日本の大学が春休みになるため、日本からの留学者が多い。そのため、心細いと日本人とばかり話したくなる気持ちもわかるがそこを頑張っていかに違う国の人に話しかけていくかがこの留学を有意義なものにできるかどうかの分かれ道だと思うので、積極的に他国の人に話しかけて行くべき。
なるべく自分の部屋にこもらずホストファミリーと話すこと。
電子辞書は持って行く必要はありません。
ホストファミリーに何か日本食を作ってあげると、話のネタにもなるし、すごく喜んでくれます。私はラーメンを作ってあげました。日本で買っていけるものは、(インスタント麺など、)買って行った方が、向こうで食材を揃えるより、安いです。
洗濯が本当に一週間に一回。何事も自分で行動してみたり参加することが大切だと思った。
出かけるときに、GoogleMapのアプリがとても重宝したので、入れるべきだと思う。Transitというアプリもあったが、全て英語なので見方がよく分からないことがあり、個人的にGoogleMapの方が使いやすかった。
持参する荷物は、スーツケースとリュックの他に、ショルダーバッグみたいながあると、ちょっと出かける時に便利だと思った。
とにかく日本人が多いため、自分を強く持たないと1日の間で日本語の方が話しているという状況になってしまう。そうならないためにも自分から積極的に英語に触れる機会を作る必要がある。
意外と寒くなかったのでブーツなどは不要だった。ただ小雨のことが多いが傘を差す人はいないのでコートよりもダウンなど濡れても平気なものを持っていくべき。スポーツデイがあるので運動靴は持っていた方がよい。
本当に1ヶ月があっという間に感じました。毎日日記をつけることをおすすめします。現地は雪はほとんど降らないかわりに雨が多いのですが、現地では傘を差すという習慣があまりないので、レインコートや撥水加工の上着を持参することは必須です。
思ったより寒くないから、手袋とかマフラー、帽子持って行ったけど使わなかった。

普段からスニーカーを履いている人であればわざわざジム用にスニーカーを持っていく必要はなかったです。また、寒いと思ってムートンブーツを持っていきましたが雨の日に履いたら雨を全て吸収してブーツが使えなくなりました。
ホームステイ先の人に初めになにか渡した方がいいのかなあと悩み、消せるボールペンを持っていきましたが、向こうで普通に売っていたので、日本のお菓子などが無難だなと思いました。

45. 英語力について

英語のリスニング能力は上がったと感じる。話す機会も必然的に多かったので、以前より自信を持つことができた

難しい文法を用いて話をするより、端的に伝えたいことを言える方が大切だと感じた。
カナダの英語は、アメリカやイギリスのそれとは少し違うので、それを学んでから行くと良いと思った。

向上したとは言えないが、英語を使うことへの抵抗、恥ずかしさはなくなったのではないかな。

英語を聴くことに少し慣れた

特別に英語力が上がったとは思わない。しかし、訛りのある英語も聞きやすくなったかと思う。

フレーズを含め語彙力は研修前よりもついたと感じた。とくに、ネイティブがよく使うものを身につけることができた。しかし、話すことに関してはあまり上達したといえない。理由はルームメイトやクラスメイトと日本語で会話をしていたからかもしれないと思っている。

1番の大きな変化は、外国人と英語で話すことへの自信がついた。レストランでのオーダーや、ホストファミリーに尋ねるとき、自分から質問しなければ自分の思いや頼みは伝わらないので、勇気があることではあるが、カナダ人はみんな優しく私たちの英語を聞いて理解してくれるから、自分から話そうという気になる。ネイティブのように話すことは4週間では無理なことだが、リスニングはついたことは確かだと思う。

英語がすこし聞き取れるようになった

聞き取りやすくなった感じがする

リスニング力がついたと思う。

英語への抵抗が減った

英語を聞き取る力は少しついた気がした。

リスニング力が鍛えられました

リスニング力が上がったと感じた。

一か月だと、すごく英語力が向上したというわけではなかったが、聴き取る力は前より結構上がったと感じた。また、話す際にも、以前はかなり考えてから喋っていたが、以前よりは考えすぎずにコミュニケーションがとれるようになったと思う。

個人的にはリスニングが大幅に上がった。英語のテレビ番組やドラマを多く見たからだと思う。スピーキングも上がった気がするがペラペラのレベルとは程遠い。

英語を聞くことは容易になったと思う。文法とかよりも発音の方が話す上で大切だと感じた。

自分の英語力が実際どれだけ通じるか、試せる良い機会でした。ホストファミリーのほか、現地のレストランやお店の店員さんなど、なるべくネイティブスピーカーと多く接しました。とにかく英語を使うことに必死になっていたのも、もしかしたら日本で日本語を使うことよりも頻繁に現地で英語を使っていたかもしれません。

聞きとる能力は向上したと思う。

お父さんとお母さんが、最初に来た時よりも上達したと言ってくれたので、聞いて話す力が少し伸びたのかなと思いました

46. 研修を通じて発見したこと、学んだこと、自分が成長したと思う点など

カナダや他の国の人々と交流して自分の価値観が狭いものであると実感させられた

どんなことがあっても、前向きに考えることの重要性を感じた。
その場その場の適応力が必要だと思った。

言語が異なる人とのコミュニケーションのとり方(英語を除いた)

カナダの生活とはどのようなものなのか

自分から話しかけることができるようになった

海外でも自分は生活できるし、大抵のことは何とかなること。

確実に視野が広がったと感じた。ボランティアの人々は実に多種多様で、全員から色々と学ぶことができた。主に彼らが普段何を思っているのかという話を聞くのが面白かった。

研修中を通じて学んだことは、ビクトリアは素晴らしい地域であるということである。治安もよく、人々があたたかい。また、日本のようにビルが少なく、通学途中に鹿やリスがいたり自然が豊かである。バスの運転手など時間通りには来ないことが多いが、走ってくる人は必ず待ってくれたり、高齢者がくると、その人が座るまで発車しなかったり、優しくかった。また、高齢者や車椅子の人が乗ってくると、何も言わずに席を立てて譲る人が多く、それが当然なことであり、日本人と違うなと思った。

店で働いている人は、みんな楽しそうで、嫌々働いていそうな人は1人もいなかった。注文すると、perfect!とかsure!など全て肯定してくれて、日本と違うな、と感じた。お金を稼ぐため、ではなく人とのコミュニケーションを楽しむ、自分の人生を楽しむ、という感じがして、日本での自分のアルバイトの姿を見直そうと思った。

日本人は時間がない。ほぼカナダ人は夜早く帰って家族と過ごし、早くお風呂に入って寝る。日本では日付けを超えてから寝るのが普通だったから、22時くらいには寝る準備ができていたことにびっくりした。そのおかげか、朝は早く起きれるし、規則正しい生活リズムができて、よかった。成長したと感じた。この習慣を忘れずに、日本でも続けて、楽しく毎日過ごしたい、と思うようになった。

なんとかするという気持ちになった。あとは積極的に生きていかなければならないとも学べない、得られないと思った

自立してご飯を作ったり掃除をしたりできるようになった、積極的に会話ができるようになった。

間違えても伝えようとする気持ち、英語で話す勇気を持つことができた。日本にいた時よりも自立することができた。

海外の文化や広さ

一人でカフェに行ったりなど一人で出来ることが増えた気がする。

もっと英語を勉強しようと思ったし、1か月じゃ足りなくて、長期留学に行きたくなりました。

文化の違いをととても感じられた、現地の人々のライフスタイルなど観光で来たなら分からないようなことも知ることができて色々考えさせられた。

自分からコミュニケーションをとることの大切さを感じた。ホストファミリーと話すときも、最初は緊張するけれど、怖がらずに気楽に話しかけることも大切だと思った。自分自身も最初は自信がなかったけれど、最後の方には英語で話すことにあまり抵抗がなくなった。

積極性がついた。英語を話さなければ上達しないと思い、街にいるカナダ人にも片言ながら積極的に話しかけた。カナダ人は優しいので、お互いが理解できるまで聞いてくれることが多い。

1人で行動できるようになった。授業後にイントネーションな発音のクラスに参加したりボランティアと話すなかでネイティブの英語を知れて今後の勉強に役立つポイントを得ることができた。

自分の英語力の足りなさをひしひしと感じたので、これからも英語の勉強を続けていくモチベーションにつながりました

ゆっくり出来る時間が多いので、いろんなことを考えるきっかけになった。

研修を通じて、色んな人と物怖じせず話しかけることが出来る自分に気づきました。特にスマートフォンを落とした日は、道を歩く人に話しかけたり、カフェやショップの店員に話しかけたり、中学(?)に入って管理人さんに話しかけたりと、過去の自分では考えられないような行動をしました。